

## ページ作成手順書

下記のデータが「my\_web」フォルダに入っているか確認してください。

- ・index.html ・素材.txt
- ・css (common.css、meanmenu.css、style.css)
- ・js (html5shiv.js、jquery.meanmenu.min.js、scroll.js)
- ・img (img\_01.jpg、logo.png、main.jpg)

### 準備

- これから実際にHTMLファイルやCSSファイルを編集していきます。開始する前に必ずバックアップ（コピー）を取っておきましょう！  
→バックアップをとっておくことで、もし正しく表示されなくなっても、最初からやり直すことが出来ます。データのバックアップをとるクセをつけておきましょう！
- 拡張子が表示されていない場合は、拡張子を表示させておきましょう。  
→Windows10の場合は、任意のフォルダを開きメニューの「表示」→「ファイル名拡張子」にチェックを入れてください。  
→Macの場合は、「Finder」→「環境設定」を開き、「詳細」→「すべてのファイル名拡張子を表示」にチェックを入れてください。

### 1) HTMLファイルを開いてみよう！

- HTMLファイルはテキストで開くことで編集ができます。  
Windowsは標準で入っている「メモ帳」を起動します。  
→Windowsメニューの中に「Windowsアクセサリ」がありますので、その中にある「メモ帳」をクリックしてください。  
Macは標準で入っている「テキストエディット」を起動します。  
→「アプリケーション」フォルダまたは「Launchpad」から選択してください。

**Point !** メモ帳よりも高機能が装備されている「テキストエディタ」がオススメ！無料で配布されているものもたくさんありますので、自分の使いやすいものを見つけてみてください。  
・ TeraPad ・ サクラエディタ ・ Atom ・ Visual Studio Code など

- メモ帳またはテキストエディットを開き、そこに「index.html」をドラッグ&ドロップしてください。htmlのファイルが開けます。  
※HTMLファイルはダブルクリックで開くとブラウザで開いてしまいますので、注意してください。
- CSSファイルも同様に開くことができますので、開いてみましょう！

### 2) HTMLを編集してみよう！

- <h1>タグを編集しますので、<h1>Coffee Shop "Nature"</h1>をソースの中から探します。  
→検索機能を使って探しますので、「編集」→「検索」を選択してください。検索する文字列に<h1>と入れて「次を検索」をクリックすると該当箇所に着きます。
- <h1>Coffee Shop "Nature"</h1>のCoffee Shop "Nature"の部分好きな言葉に変更します。
- 保存しないと変更が反映できませんので、ファイルを保存します。「ファイル」→「上書き保存」をクリックします。
- 変更できたか実際に表示してみます。index.htmlをダブルクリックで開きます。変更した言葉が表示され、レイアウトが崩れていなければ成功です！

**Point !**

うまく表示されない場合、誤って必要なものを消してしまっていないか確認しましょう。<h1>の < がなくなってしまっただけでも、コンピューターは正しく表示してくれません。

### 3) CSSを編集してみよう！

1. HTMLファイルと同様にメモ帳またはテキストエディットで「css/style.css」を開きましょう！

**Point !**

css/style.cssのように「/」で区切ることで「cssフォルダの中のstyle.css」という意味になります。こういったファイルのある場所を示すものを「パス」と言います。

2. 「h1」タグの文字の色を編集しますので、HTMLと同様に検索で探します。検索する文字列に h1 と入れて検索します。
3. 「h1」の { } の中にある「color:#663300;」の「#663300」を好きな色へ変更してみましょう！  
→色は「red」「green」などの言葉でも可能ですが、色のコードで指定したい場合はコードを調べて記述します。色辞典：<https://www.colordic.org/> など調べることができます。
4. ファイルを保存し、「index.html」を再読み込み（F5キーを押すと再読み込みされます）します。  
<h1>タグの文字が変更した色になっていれば成功です！

**Point !**

#は色コードを使用するときのみ付けてください。誤って「:」や「;」を削除しないように気を付けましょう。


**Point !**

ブラウザにはキャッシュ（一時的にページを保存する機能）という機能があり、再読み込みを行っても正しく表示されない場合があります。その場合は、キャッシュのクリアを行きましょう！

ここまでの手順ができれば、HTMLとCSSを自由に触ってみましょう！

### 変更したい箇所がソースのどの部分かわからない...というときは...

ブラウザのデベロッパーツールを使用してみましょう。

1. 「index.html」をダブルクリックで開きブラウザを起動させます。
2. 「F12」を押すとデベロッパーツールが表示されます。
3.  を選択し、調べたい箇所を選択するとソースのどの箇所が表示してくれます。

※Google Chromeの使用方法になります。ブラウザにより使用方法・機能が多少異なります。

**Point !**

IE11やFirefox、Safariにも機能はありますが、Google Chromeのデベロッパーツールが使いやすくおすすめです！

## 番外編) メイン画像を変更してみよう！

1. 使用したい画像を探します。無料で使用できる素材画像がインターネット上にはありますので、それを上手に使いましょう。

→フリー画像素材は <https://www.pakutaso.com/> (ぱくたそ) など、その他にもたくさんあります。中には会員登録が必要なもの、有料なものもありますので、都合に合わせて上手に使用しましょう。

### Point !

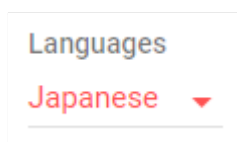
インターネット上にある写真やイラストなどの素材には「著作権」があります。配布しているサイトの使用方法をよく確認し、違反しない使い方をしてください。特に商用で使用する場合は、注意が必要です。

2. メイン画像のファイル名は「main.jpg」になりますので、変更したい画像のファイル名を「main.jpg」にします。
3. imgフォルダの中へ「main.jpg」を入れます。
4. 「index.html」を再読み込みし、メイン画像が変更されていれば成功です！

## 番外編) フォントを変更してみよう！


1. Googleウェブフォント (<https://fonts.google.com>) で使用したいフォントを選びます。

→日本語が使用できるフォントを選ぶ必要がありますので、「Languages」で「Japanese」を選択し、表示された中から選んでください。



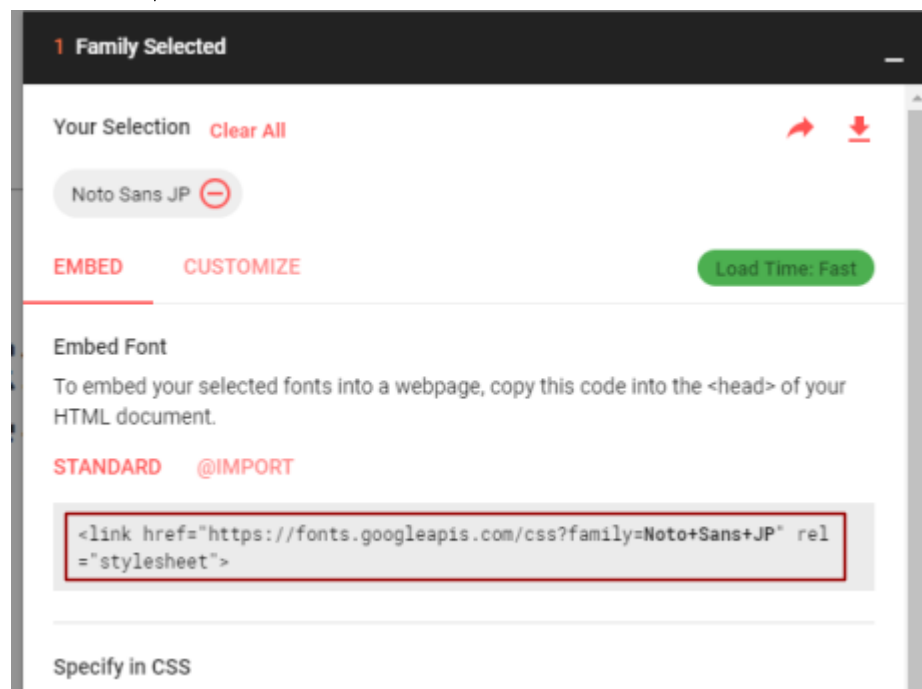
### Point !

ウェブフォントとは、ウェブサーバー上にフォントファイルが置いてあり、そのファイルを呼び出すことでフォントを表示できるようにした技術です。

2. 「index.html」をメモ帳で開いておきます。</head>タグの上（上から15行目くらい）にGoogleフォントの記述がありますので、そこを差し替えます。
3. Googleウェブフォントの使用したいフォントの右上にある  をクリックします。
4. 画面下に選択されたフォントが↓のように表示されますので、クリックします。

1 Family Selected

5. このような画面が表示されますので、<link href="〜">というところをコピーします。



6. 「index.html」の</head>タグの上にある  
<link href="https://fonts.googleapis.com/css?family=Sawarabi+Gothic" rel="stylesheet">  
を削除し、貼り付けます。
7. cssの記述を変更します。css/style.cssをメモ帳で開きます。上から4行目辺りに「font-family: 'Sawarabi Gothic', sans-serif;」という記述があります。ここを変更します。
8. Googleウェブフォントの画面↓から「font-family:~」というところをコピーします。



9. css/style.cssの「font-family: 'Sawarabi Gothic', sans-serif;」を削除し、貼り付けます。上書き保存をします。
10. 「index.html」を再読み込みし、フォントが変更されていれば成功です！

### **番外編) ロゴを変更してみよう！**

1. ロゴを作成します。無料で作成できるツールがインターネット上にはありますので、それを上手に使いましょう。作成すると画像ファイルとしてダウンロードできます。  
→ロゴ作成ツール：<https://www.logofactoryweb.com/default.asp?lg=ja>  
ツールの使用法は動画で掲載されていますので、そちらを参考にしましょう。
2. ロゴ画像のファイル名は「logo.png」になりますので、ダウンロードしたロゴ画像のファイル名を「logo.png」にします。
3. imgフォルダの中へ「logo.png」を入れます。
4. 「index.html」を再読み込みし、ロゴ画像が変更されていれば成功です！